



# 学校だより

3月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



## 1年間を振り返る(ふりカエル🐸)

校長 西山 久美子

暖かい日が続いた2月の下旬、登校した子ども達が校庭の池の周りにたくさん集まっています。「カエルが3匹いるよ。」「顔を出している。かわいい。」「卵を産んでいるよ。」と目を輝かせながら知らせてくれました。数日後には、「4匹に増えていたよ。」と観察は続きます。カンガエルくんかなあ、マチガエル



くんかなあなどと、朝会で伝えた「カエルさん」の話をしている子もいました。池の周りの1年生の植木鉢の芽も日ごとに大きくなり、春の訪れを感じる日々、子ども達の成長に驚かされたり感動したりする場面がたくさん出会う季節です。



2月は、4年生の10才を祝う活動や個別支援級の合同発表会、6年生の感謝の会があり、そこでは自分たちの成長やこれまでの学習の成果を立派に発表しました。1年生は、幼稚園・保育園の子ども達に自信をもって学校案内をしていました。他にも、3年生の区音楽会での歌の発表、2年生の成長の振り返り学習などもあり、子ども達がもつ力や可能性の大きさを感じたとともに、星の子一人ひとりの大きな成長を嬉しく思いました。

学校ではこの時期、このような活動とともに「自分は何を学んだのか」「どのように感じたり考えたりしたのか」を具体的に整理する「振り返り」を大切にしています。それは、教科学習だけではなく、普段の生活や友達とのかかわりについても同様です。相手の気持ちを考えることができたかどうか、やるべきことに一生懸命取り組んだかどうか、優しい気持ちで過ごせたかなど、常に心に留めてほしいことへの振り返りも大切にしたいと考えます。また、子ども達には折に触れ、あたり前のことをあたり前にできることの大切さを伝えてきました。あいさつすること、掃除をしっかりとすること、時間を守ること…日常の「あたり前」についても振り返り、その一つ一つが自分を成長させるということをこれからも子ども達と確認していきたいと思っています。

6年生の卒業式まであとわずかとなりました。今、5年生は、卒業を祝う活動や新年度への準備など、次の上星川小学校のリーダーとして積極的に取り組んでいます。その頼もしい様子に、4月からの新しいスタートへの期待が膨らみます。これまで全校活動の中心として盛り立ててきた6年生の姿は、よりよい学校をつくっていかうとする「星の子の想い」として今年もしっかりと受け継がれていくことでしょう。

令和5年度も、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。来年度も、星の子のよりよい成長のため、ご支援賜りますようお願い申し上げます。